

こんにちはは 日本共産党

いのくま正一です

No. 9
2001年1月

日本共産党港区議員団
〒105-8511
港区芝公園1-5-25
TEL 3578-2945
FAX 3578-2947
E-mail minakougian@mb.nifty.com

麻布十番公共駐車場

ツケを区民に押しつけるな 「無償譲渡」は負担が増大

第四回定例区議会に、みなど都市整備公社が所有する駐車場を港区が「無償譲渡」を受け、区が公社に無償で貸し付ける議案が出されました。今後駐車場をどうするのか、区は駐車場経営専門家や弁護士など四人で構



パネルも使い質問するいのくま区議

成される「検討会」を七月に発足させ、十一月一日に「検討会報告書」が区長に提出されました。「報告書」はいろいろ言っていますが、区が所有すれば固定資産税などが「かからない」と区への譲渡を提案しています。

第4回港区議会定例会

第4回港区議会定例会での、いのくま正一議員がおこなった質問と、この間の取り組みを紹介いたします。ご意見、ご感想をお寄せください。

今までもにも多額の税金が使われ、これからも使われる危険がある上、十五年から二五年後に二六億円もの大規模補修費などを区民の税金で賄うという「無償譲渡」の自身は、多額の税金投入になる「大負担付贈与」なのです。

大規模保険(保険料)の減免を実施せよ

○月一四日現在、二百市町村で利用料の減免、二三八市町村で保険料の減免を実施しています。その後も新聞報道によれば日々実施する自治体が増えていきます。二三区では千代田区が利用料・保険料減

十番駐車場をめぐる動き

六月七日 公社取締役会で駐車場設備を区へ移転する方向を確認
七月二六日 「麻布十番公共駐車場検討会」が発足
十月三十一日 公社の取締役会で、港区に「無償譲渡することを確認」
十一月一日 「検討会」から区長へ「検討会報告書」提出。
十一月二日 公社が港区に「十番駐車場の無償譲渡」の要望書提出。
十一月六日 港区が「無償譲渡を受け入れる」ことを庁議決定。
十一月三・四・五日は連日庁内で検討する時間的余裕はない

返済延長 特別枠融資 中小企業への支援を

特別枠融資の実施を望む声が大いこと、これまで延べで七千五百人が申し込み

子育て世代がすすめる低廉な家賃住宅の建設を

港南荘の建替えて、都住宅供給公社の制度と国や都の補助金を活用することで、一般財源・区民の税金を使わなくても、比較的安い家賃の住宅が提供できることが明らかになりました。地域の住民の方々の意見も聞きながら、区有地の活用など住宅建設の具体化を計画すべきです。

新しい政治をめざしがんばります



都政でも、国政でも、庶民に冷たく、大型開発優先の自民党型の政治は完全にゆきづまっています。くらしと福祉、平利の憲法をまもる新しい政治の流れをおこすため、がんばります。

無料なんでも相談会

第二木曜日 (株)きかんし

PM6時から

第三木曜日 芝病院 PM6時30分から

電話 3578-2945

西武鉄道(株)の超高層ホテルでなく 芝公園の緑と文化財を守り復元こそ必要



組み立て中の台徳院霊廟の模型と筆者
11月16日「日経」台徳院の模型が英国に

西武鉄道は二代将軍徳川秀忠霊廟跡に、百メートルもの超高層ホテルを建てようとしています。港区環境影響調査審議会での五回の慎重な審査をもとに、「建物の高さを減少するなど具体的な設計変更を自主的に行っていただきたい」。「計画地周辺の住民及び関係団体の意見・要望に対し、真摯に対応し、地域の合意を得ることが必要」であり、日照の問題や風害などでも、「公

園として適切なものに」などの区長意見書を西武へ出しています。ところが、西武鉄道は、区民と審査会の意見をもとにした区長意見書を全く無視して、建設を強行しようとしています。区として本来の環境影響調査制度の目的（事業の計画、実施にあたって区民の意見を適切に反映する）どおり、西武鉄道を説く必要があります。西武鉄道が、区長意見を無視する態度であれば、東京都に対して、特許事業の認可を取り消すように強く要望するべきです。区民や関係者もそうした区の姿勢を望んでいるのです。



明治時代に描かれた芝公園

ワイリアム・コールドレイク
十一月十一日に文化財保存全国協議会と芝公園を守る会が、芝公園にあった歴代徳川将軍墓の学術調査について講演会を行いました。百名を超える参加者があり、芝公園の歴史的文化財に対する関心の高さが認識できました。

日光東照宮などが昨年世界遺産に指定されました。昨年日光を訪れた方は五七三万人ですが、今年には家光の霊廟が公開されることもあり、「昨年をはるかに超えるだろう」とのことです。霊廟や、將軍墓の数は、日光を上回る芝公園が復元されるならば、港区の文化的な財産を考えると、観光資源としても非常に意義ある有益なことです。台徳院霊廟の復元の可能性が現実味をおびてきたわけで、教育委員会としても芝公園の復元の可能性について検討する必要があります。

高すぎる固定資産税を引きたげろ

今年(2000年)度の都への不服審査が始まっています

大門・芝公園・浜松町・新橋・虎ノ門・赤坂地域など、区内で一四五名が不服申し出をしました。また、今回は新宿、千代田の方々も、港区の「高い固定資産税から営業と住まいを守る会」といっしょに不服申し出をして、一九〇名を超える全体の申し出になりました。この数は東京都全体の申し出の六五％にのびります。いかに都心区の税金が高いかを示しています。

一月二〇日から都の審査が始まりました。商売の関係などで都庁まで行けない方々も、十八名が切実な声を文書で提出をするなど詳細と税額を下げろの声はまったく当然です。

都側は、納税者が土地価格決定の過程がわかる資料を前年まで出していたものを、今回は出さないなどの不当な態度をとっていました。「会」として強く提出を求めた結果、ようやく都側は資料を出してきました。

資料も出さずに、審査が続けられたこともあり、全地域の審査が未了です。今後改めて審査日程が決めます。高い固定資産税を完済にあわせて下げさせるため、引き続き奮闘していきましょう。



本会議をケーブルテレビで放送せよ
台場地区の環境改善を
新橋・あたご地域に特養ホーム建設を
学校修理費などは区内業者へ発注すべき
学校の冷房設置の年次計画立てよ
区としての財源確保を提案
障害者支援策を
幼稚園の配置は保護者関係者の声を
生かすべき

党区議団の要望で、 三宅島から避難された方々へ 年末見舞金支給

共産党議員団が、12月20日、区長へ6項目の緊急要望を提出しました。この内の三宅島の方々へ年末見舞金がさっそう実現しました。複数世帯へは4万円、単身世帯は3万円。いづれも区内共通の品券で支給されました。